

# シルバー やまがた

第155号 令和6年7月1日発行 (公社)山形市シルバー人材センター  
正会員数1,188名 賛助会員 27個人・60団体(5月末現在)



「あじさい」 悠創の丘 (カメラ愛好会 渡部武三さん 撮影)

## — 内容紹介 —

- |    |                                 |        |                           |
|----|---------------------------------|--------|---------------------------|
| P2 | 令和6年度 定時総会あいさつ                  | P7     | 就任あいさつ                    |
| P3 | 令和6年度 受賞者紹介                     | P8     | 空き家管理協定の締結<br>安全・適正就業強化月間 |
| P4 | 令和5年度 事業実績報告<br>令和6年度 重点課題と事業計画 | P9     | わが街通信<br>新入会員紹介           |
| P5 | 令和6年度 定時総会を開催                   | P10~11 | 会員のひろば                    |
| P6 | 新旧理事長あいさつ                       | P12    | 事務局だより                    |
| P7 | 新役員紹介                           |        |                           |

令和六年度

# 定時総会あいさつ

理事長 長 瀬 洋 男



パーや介護施設等の受注拡大等もあり、前年度を百二十万円ほど上回り、契約金額は一億三千七百二十万円と、過去最高額となりました。

結びに、人口減少や少子高齢化など様々な社会状況の変化の中、当センターも平成二十四年四月の公益社団法人移行から十二年余りの歴史を重ねてまいりました。長きにわたり、基本理念に則した事業を推進することができましたのも、偏に皆様方からの格別のご協力とご支援の賜物と改めて感謝申し上げます。今後とも、当センターの事業

会員、賛助会員並びにご臨席 集・就業機会の確保に向けた

安全就業につきましたは、残念ながら四件の事故が発生して

念に則した事業を推進することができましたのも、偏に皆様方

の来賓の皆様には、日頃より山

「デジタルサイネージ」の増強

のほかに、新たに「Web（ウェブ）」による入会システムを導入するなどの取組みを推進して

念に則した事業を推進することができましたのも、偏に皆様方

形市シルバー人材センターの事

業に対し、格別のご協力とご支

取り組んでまいります。

から格別のご協力とご支援の賜物と改めて感謝申し上げます。

援をいただいておりますことに、

まいりました。しかしながら、

今年度は「中期事業計画」の

最後年度になります。「自主・

心より感謝申し上げます。

普及啓発活動へのコロナの影響

最終年度になります。「自主・

自立、共働・共助」の基本理念

が第五類に移行し、コロナ禍前

数は一、二八六人と、前年度より若干の減少となり、会員確保・拡大に向けた更なる取組み

課題である「インボイス制度」への対応のための特定費用準備

金積立の継続、秋に予定される

の活動を振り返った一年であり

が、秋に予定される

通称「フリーランス法」の施行

に備えた対応を行ってまいります。

ました。

令和二年度から今年度までを

期間とする「中期事業計画」に

基づき、最重要課題である会員

の拡大に取り組んでいるところ

であり、派遣事業についても、ス

す。

す。

です。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

# 令和6年度 感謝状・表彰状受賞者

## 1. 名誉会長の感謝状

理事長として、13年にわたりセンターの改革と発展に多大なる貢献し、退任される方

職 名	氏 名
理 事 長	長 瀬 洋 男

## 2. 会員表彰 (66名)

会員として、5年以上在籍し、積極的に就業に励み、その業績が顕著であり、正副班長の推薦を受けた70歳を超えた方

地 区 名	氏 名	地 区 名	氏 名
第 3 地 区	佐 藤 昭 子	飯塚・榎沢地区	井 上 正 次
第 4 地 区	森 谷 清 介	〃	田 中 耕 樹
第 6 地 区	米 倉 仲 雄	東 沢 地 区	齊 藤 一 子
〃	安 部 正 次	〃	後 藤 俊 治
第 7 地 区	斉 藤 明 子	滝 山 1 地 区	新 林 彦 一 郎
〃	布 施 正 夫	〃	遠 藤 茂
〃	梅 津 長 次	〃	菅 野 咲 子
〃	多 田 文 穂	〃	阿 部 克 則
西 地 区	樋 口 和 美	滝 山 2 地 区	大 澤 久 平
〃	伊 東 悠 人	〃	国 井 隆
〃	三 原 隆	〃	伊 藤 則 雄
〃	稲 村 榮 子	〃	渡 邊 孝
〃	森 谷 和 男	金 井 地 区	高 橋 信
〃	佐 藤 良 子	〃	山 口 和 男
第 9 地 区	那 須 満 子	〃	佐 藤 直 彦
〃	海 鋒 敏 広	〃	岩 井 文 子
〃	長 岡 久 治	〃	田 中 政 俊
第 10 地 区	藁 谷 幸 市	〃	阿 部 昭 治
〃	伊 藤 文 雄	大 郷 地 区	岩 松 堅 一
〃	鈴 木 和 久	山 寺・高瀬地区	鎗 水 静 雄
〃	土 岐 勝 義	〃	斎 藤 吉 典
〃	藤 田 和 男	楯 山 地 区	工 藤 俊 二
鈴 川 2 地 区	海 谷 和 子	蔵 王 地 区	今 野 久 子
〃	福 田 行 雄	〃	鈴 木 眞 幸
〃	吉 田 嘉 鶴 榮	〃	長 谷 川 勇
〃	加 藤 ち え 子	〃	佐 藤 恵 子
〃	木 元 悟	〃	安 達 晴 義
〃	大 場 義 之	南 山 形・本沢地区	古 頭 修 一
〃	渡 辺 永 次	〃	尾 形 博
鈴 川 3 地 区	森 谷 文 敏	〃	横 山 俊 昭
〃	松 田 明 子	〃	山 口 均
〃	鈴 木 と み 子	南 沼 原 地 区	鬼 嶋 博 安
〃	星 忠 一	〃	中 寫 寛

## 令和5年度 事業実績報告

令和5年5月から新型コロナウイルス感染症が第5類に変更になったことを受けて、当センターでは原則としてコロナ禍前の普及啓発活動を実施しています。令和5年度は「中期事業計画」に基づき会員拡大に取り組みましたが、定年延長やコロナの影響で「1:1（イチイチ）運動」が十分にできなかったことにより、令和4年度から26人減の1,286人となりました。

事業実績は、請負事業においては堅調に推移し、契約金額は昨年度より6,018千円増の498,063千円となりました。派遣事業は、契約金額が前年度対比1,197千円増の137,270千円となりました。就業延人数・受託件数とも前年度を超える実績となっております。（詳しくは令和6年度定時総会議案書をご参照ください。）

### 令和5年度事業実績

項目	5年度実績	4年度実績	比較
正会員数	1,286人	1,312人	△26人
契約金額	498,063千円	492,045千円	6,018千円
就業延人数	110,912人	114,068人	△3,156人
受託件数	4,966件	5,005件	△39件
派遣事業 契約金額	137,270千円	136,073千円	1,197千円

## 令和6年度 重点課題と事業計画

山形市の高齢者人口は、令和7年には78,013人（高齢化率31.6%）に達すると見込まれ、高齢化はますます進行していく事が予想されます。少子高齢化が進行し労働力人口が減少する中、生涯現役を掲げるシルバー人材センターの役割は地域社会活性化のため、ますます重要になっております。高齢者の意欲と能力に応じた就業機会を確保し、社会を支え続ける高年齢者を増やしていくことが急務となり、就業機会の拡大、職域の拡大と併せ、積極的に会員の拡大を図ることが大変重要になっております。

当センターでは、「会員100万人達成計画」を目標に、会員拡大に取り組みます。また、シルバー人材センター事業においては、「中期事業計画」に基づき事業に取り組んでおり、基本理念である「自主・自立、共働・共助」を堅持しながら、一層の機能強化と効率的な事業運営の推進に取り組んでまいります。

令和5年5月より新型コロナウイルス感染症が第5類に変更されたことを受け、当センターでは原則的にコロナ禍前の普及啓発活動を再開しました。デジタル技術を活用した広報活動や、インターネットによる入会システムの導入など、デジタル化に対応した新たな取り組みを進めております。

（事業計画や予算等、詳しくは令和6年度定時総会議案書をご参照ください。）

### 重点課題

1. 新入会員増と退会会員の抑制の取組み
2. 会員の資質の向上
3. 就業機会の拡大と受注件数の増加
4. 派遣事業の推進
5. 会員組織の充実と活性化
6. 安全就業推進の強化
7. 公益社団法人としての機能強化
8. 経営の効率化と財源の確保



市議会議長へ要望書の提出

# 令和6年度定時総会を開催

六月十二日（水）ホテルメトロポリタン山形において令和六年度定時総会が開催されました。

結城副理事長の開会挨拶、長瀬理事長の挨拶、来賓各位の挨拶後、引き続き感謝状と表彰状の贈呈が行われました。

事務局より定足数報告があり、出席者一六名、委任状による議決権行使者八四六名、合せて出席者は九六二名となり、会員総数一、一八八名の八〇・九％に達し、総会は成立しました。

議長に高野昭英会員（西部地区）を選出し、議事が進行されました。

報告事項四件、議案事項二件について、事務局長より議案の主旨説明があり審議を諮り採決の上、満場一致で承認されました。

定時総会及び臨時理事会において、斎藤武弘新理事長が就任されました。また、欠員補充に伴う新理事・新監事（七頁参照）も就任し、令和六年度定時総会は滞りなく終了しました。

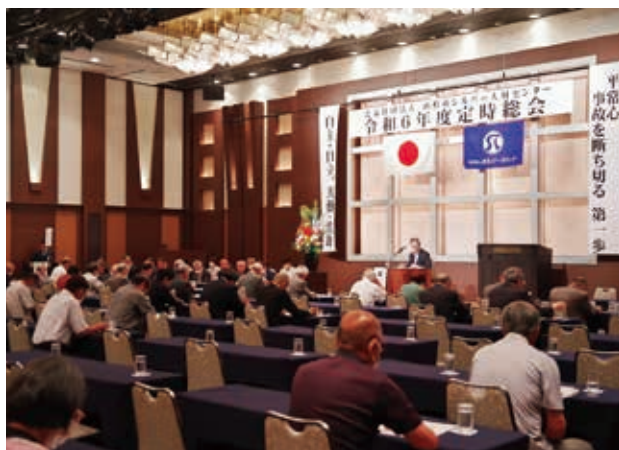
長瀬前理事長は、平成二十三年より十三年間の長きに亘り、当センターの課題解決に率先して業務遂行に当たりました。平成二十四年には社団法人から公益社団法人への移行や令和五年度末では会員数一、二八六人に増加（就任当時の1.38倍）・合計契約金額では過去最高六億三千五百万円（同1.6倍）・コロナ感染症・インボイス対策等数多くの業績や諸課題を解決されました。これらの功績に対し、会員及び役職員一同より感謝申し上げます。ありがとうございました。



役員表彰：長瀬理事長



会員受賞者



総会風景



長瀬理事長あいさつ

## 新旧理事長あいさつ



**就任にあたって**  
新理事長 斎藤 武弘

このたび、公益社団法人山形市シルバー人材センター理事長に就任いたしました、斎藤武弘でございます。四十年以上にわたるセンターの歴史と伝統、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、役員、職員と共に鋭意取り組んでまいりますので、会員、賛助会員並びに関係機関の皆様からは格別のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

民の方々の信頼の向上に繋がるとともに、信頼の定着が事業実績拡大の大きな基盤となったものであります。

今後のセンター事業については、昨年十月から導入されたインボイス制度や秋に予定される通称「フリーランス法」施行への対応、会員数の確保と事業拡大、安全就業の継続など、取り組むべき課題が山積しております。

社会情勢の変化に対応するとともに、これまで築いた市民の方々との信頼関係を大切にし、高齢者が生き生きと地域社会で活躍できるよう取組を進めてまいりますので、関係各位から変わらぬご支援を賜りますようお願いし就任のご挨拶いたします。



**退任のあいさつ**  
前理事長 長瀬 洋男

このたびの定時総会をもちまして、公益社団法人山形市シルバー人材センター理事長を退任いたしました。これまでのご協力に厚く感謝申し上げます。

この数年は新型コロナウイルスの影響がセンターの事業活動にも及んだ時期が続きましたが、ようやく通常の活動を取り戻し、新たな取り組みを進めることができるようになりました。

平成二十三年に就任してから今日まで、皆様に支えられ通算十三年の長きにわたり職責を果たすことができました。この間派遣事業を開始したこともあり、会員数や事業実績が順調に推移したこともさることながら、在任期間中重篤事故が一件も発生しなかったことが一番の喜びです。また、平成二十八年には山形県警察と「高齢者を事件事故から守る活動に関する協定」を締結することもできました。これも偏に会員、賛助会員の皆様、そして歴代役員の皆様のご協

人生百年時代と言われる中で社会情勢の変化に対応しながら、高齢者の就業機会の確保、生きがいづくりを推進するセンターの役割はさらに重要性を増すものと思います。今後ともセンターの事業に対し、ご支援を賜りますようお願いし、退任のご挨拶いたします。

長瀬前理事長におかれましては、「公益社団法人」への移行という大きな節目に理事長としての大きな職責を果たされるとともに、長きにわたり会員及び事業実績の拡大に貢献されました。公益認定がセンター及び会員に対する市

民の方々の信頼の向上に繋がるとともに、信頼の定着が事業実績拡大の大きな基盤となったものであります。



# 新役員紹介

令和六年度定時総会にて、新たに四名の役員が選出されました。



理事長（代表理事）  
齋藤 武弘  
（市推薦）



常務理事（業務執行理事）  
石川 一幸  
（市推薦）



理事  
高瀬 謙治  
（市社会福祉協議会推薦）



監事  
石山 昌之  
（千歳地区）

## 新役員体制

理事長 齋藤 武弘  
 副理事長 石川 一幸  
 常務理事 高瀬 謙治  
 理事 齋藤 純一  
 理事 山田 晶子  
 理事 岸藤 英夫

《総務部会》  
 理事 福田 美知子  
 理事 平山 尚

《事業部会》  
 理事 結城 正一  
 理事 岸藤 英夫

《広報部会》  
 理事 齋藤 純一  
 理事 岸藤 英夫

《女性部会》  
 理事 土田 トク子  
 理事 山田 晶子

《安全就業推進委員会》  
 理事 高橋 眞一  
 理事 金澤 忠次

監事 石山 昌之  
 監事 佐藤 利彦

# 退任役員紹介

—長い間  
おつかれさまでした—  
 理事長 長瀬 洋男  
 常務理事(事務局長) 佐藤 雅俊  
 監事 安食 仁

# 就任あいさつ



常務理事(事務局長)  
石川 一幸

本年四月に事務局長として採用になり、六月十二日の定時総会で常務理事に就任いたしました。

四十年以上の歴史と伝統がある山形市シルバー人材センターで、役員・職員と共に会員の皆様のために働くことができる機会をいただきましたことに、感謝と同時に大きな責任を感じて

いるところです。この度の総会で就任した齋藤新理事長を支え、長瀬前理事長が築かれた業績をさらに発展させるべく精励してまいります。

私には令和六年三月まで山形市役所に勤務し前職ではスポーツ行政、住宅行政など様々な分野の仕事を経験

させていただきました。三十数年間の仕事の中でセンターに施設管理などの業務を依頼する機会もあり、当時の担当会員の方々とともにならず接点があったことなど思い出しながら日々の仕事に取り組んでいくところです。

私生活ではランニングが日課で、山形まるごとマラソンなど年数回ロードレースやフルマラソンに出場しています。自身の健康に留意しながら、チャレンジ精神を忘れず、会員の皆様が心身ともに健康で、働く喜びや生きがいを実感できるセンターになるように精一杯努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

私生活ではランニングが日課で、山形まるごとマラソンなど年数回ロードレースやフルマラソンに出場しています。自身の健康に留意しながら、チャレンジ精神を忘れず、会員の皆様が心身ともに健康で、働く喜びや生きがいを実感できるセンターになるように精一杯努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

私生活ではランニングが日課で、山形まるごとマラソンなど年数回ロードレースやフルマラソンに出場しています。自身の健康に留意しながら、チャレンジ精神を忘れず、会員の皆様が心身ともに健康で、働く喜びや生きがいを実感できるセンターになるように精一杯努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

私生活ではランニングが日課で、山形まるごとマラソンなど年数回ロードレースやフルマラソンに出場しています。自身の健康に留意しながら、チャレンジ精神を忘れず、会員の皆様が心身ともに健康で、働く喜びや生きがいを実感できるセンターになるように精一杯努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

私生活ではランニングが日課で、山形まるごとマラソンなど年数回ロードレースやフルマラソンに出場しています。自身の健康に留意しながら、チャレンジ精神を忘れず、会員の皆様が心身ともに健康で、働く喜びや生きがいを実感できるセンターになるように精一杯努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

私生活ではランニングが日課で、山形まるごとマラソンなど年数回ロードレースやフルマラソンに出場しています。自身の健康に留意しながら、チャレンジ精神を忘れず、会員の皆様が心身ともに健康で、働く喜びや生きがいを実感できるセンターになるように精一杯努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

私生活ではランニングが日課で、山形まるごとマラソンなど年数回ロードレースやフルマラソンに出場しています。自身の健康に留意しながら、チャレンジ精神を忘れず、会員の皆様が心身ともに健康で、働く喜びや生きがいを実感できるセンターになるように精一杯努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

私生活ではランニングが日課で、山形まるごとマラソンなど年数回ロードレースやフルマラソンに出場しています。自身の健康に留意しながら、チャレンジ精神を忘れず、会員の皆様が心身ともに健康で、働く喜びや生きがいを実感できるセンターになるように精一杯努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

## 「空家等の適正管理に関する協定」を締結



去る令和六年三月八日に、当センターと山形市は「空家等の適正管理に関する協定」を締結し、四月より「空き家状況確認業務」を開始しました。

現在、山形市内には三千を超える空き家がありますが、手つかずのままでは危険となる状況も考えられます。こうしたことから、当センターで可能な業務について山形市と検討をしてきました。当センターにおいても近隣センターの空き家管理業務について調査を行い、市との協議を重ねた結果、他市センター



でも実施の実績がある「状況確認」の業務が実施可能であると判断し、今回の事業開始に至りました。

県内の状況を見てみると、令和五年三月末現在、九センターが空き家に関する協定を各市町村と締結し、事業を行っております。当センターと山形市との協定で十センター目となりました。協定がない場合でも、空き家の所有者より依頼を受け「除草」や「剪定」の作業を実施しているセンターも数多くあります。

四月から開始する当センターの「空家状況確認業務」の内容は、空き家の所有者から依頼を受けた場合、建物に異常がないか、庭の雑草や樹木の状況など、チェック項目に基づき確認を行い、写真と併せて所有者へ報告するということです。今回就業希望者を募集したところ、九十一名の方からご応募いただきました。今後、多くのご依頼があることを期待したいと思います。

## 安全・適正就業強化月間

安全就業推進委員会 委員長 高橋 眞一

令和六年度スローガン

「安全は無理せず 焦らず 油断せず」

令和五年度は、事故ゼロを目標に事故防止活動に取り組みでまいりましたが、残念ながら就業中に四件の事故が発生しております。

各地区SCがそれぞれ連携して活動してまいります。

### 【強化月間の取り組み事項】

- 一 安全就業推進委員会の開催
- 二 事故ゼロを目指した活動の推進

本年度は、会員各自がこれまでに以上に緊張感をもって事故防止に努めていただきたいと思っております。

- ・定期パトロール、不定期パトロールの実施
- ・安全保護具の完全着用の徹底(安全帽・安全帯等の装着)
- ・機械器具、安全保護具の点検整備
- ・緊急連絡カードの携帯徹底

### 三 安全意識高揚策の充実

事故が発生した場合はその要因を明確にして、「安全はすべてに優先する」という意識を高め、事故や怪我のない職場環境を作ることが大切だと考えております。そのために、各地区班及び、職群班とともに連携協力を密にし、事故防止活動に取り組んでまいりたいと考えております。

- ・安全標語の募集と優秀作品の表彰及び安全講習会の開催
- ・事故再発防止対策の徹底
- ・「重大事故速報」や「安全就業推進委員会だより」の発行で再発防止の喚起

さて、七月は「全国安全・適正就業強化月間」として一日から三十一日までの間、全シ協・

### 四 会員の健康管理意識高揚

- ・総合健康診断の受診を推奨
- ・就業途上の交通事故防止





# 地域紹介 わが街通信

## 第三地区

志鎌 一夫

山形城下の北方に位置する馬見ヶ崎川の清流が流れる第三地区は古くから

台で賑わう。また、「お宮さま」と呼ばれる「鳥海月山両所宮」

物、鍛冶などが盛んで、約九七〇年前に馬見ヶ崎川の砂と土質が鋳物に最適であ

ることから鋳物の製造が始まったと伝わっている。ちなみに霞城公園内の騎馬に

勇ましく跨る最上義光公の鋳造は国内でも数少ない二本脚で建っている騎馬像

で、「鋳物の銅町」が製造した傑作で技術力の高さを物語っています。

第三地区には古式豊かな神社仏閣が数多く存在している。国分寺薬師堂と山形

県護国神社がある薬師公園を中心にして五月八日から三日

間開催される大祭と植木市は「日本三大植木市」として有名で、若葉の薫る季節

に周辺の沿道は植木屋と屋

台で賑わう。また、「お宮さま」と呼ばれる「鳥海月山両所宮」

は「北の総鎮守」として尊崇されてきた。八幡太郎義家がこの地に創建されたといわれている。大祭は八月

一日で幼い頃、山形市内中心部を神輿がねり歩き、地区内は老いも若きも祭り一色になる。神輿が沿道から境内に入る時は担ぎ手の掛け声と地区民が一体となり、熱気で沿道は最高に盛り上がり、子供ながらに「ワクワク」した日を思い出す。この他にも「最上三十三観音第四番札所大慈山円応寺」など名所旧跡が数多くあります。



鳥海月山両所宮

## 新入会員紹介

東沢地区	飯塚・榎沢地区	千歳地区	鈴川三地区	鈴川二地区	第十地区	第九地区	第八地区	第七地区	西地区	第六地区	第五地区	第四地区	第二地区	第一地区						
新川寿子	横山三千子	青木京子	清水和比古	丸山荘一郎	前野晴美	佐藤春樹	奥山一宏	木下健男	阿部洋子	廣谷治実	黒田正	鈴木由美子	海谷智恵子	海谷賢次	海谷賢次	山寺・高瀬地区	楯山地区	蔵王地区	南沼原地区	
矢ノ目嬉美子	三澤啓司	江口智佳子	佐藤長一郎	荒井栄一郎	畠中泰雄	渡邊靖子	斎藤隆之	金子克美	石山祥治郎	斎藤みち子	齋藤みち子	齋藤みち子	齋藤みち子	齋藤みち子	齋藤みち子	齋藤みち子	齋藤みち子	齋藤みち子	齋藤みち子	齋藤みち子
矢ノ目嬉美子	三澤啓司	江口智佳子	佐藤長一郎	荒井栄一郎	畠中泰雄	渡邊靖子	齋藤隆之	金子克美	石山祥治郎	齋藤みち子	齋藤みち子	齋藤みち子	齋藤みち子	齋藤みち子	齋藤みち子	齋藤みち子	齋藤みち子	齋藤みち子	齋藤みち子	齋藤みち子

〔寄稿〕



南山形・本沢地区  
塩野 美智子

金婚式を迎えて

夫婦愛和して五十年、お陰さまで五年前に金婚式を迎えることができました。二人で暮らしてきた波乱万丈の日々を思い出して懐メロを聞いて語り合うようになった。「華と嵐の人生ふり向けば 波の数ほど苦労があ

りました 笑い話しにできるの

は あなたと一緒に生きたから

幾とせを思い出させる二人の

舟唄よ」家族や皆さんに支えら

れ頑張ってきたご褒美と喜んで

います。三人の子供達からは温

泉旅行をプレゼントしてもらい

泊まりに行ってきた。嫁の頃は

子育てやお姑さんの介護に追わ

れ、働きながら忙しく過ごした。

子供達には入浴の世話や、くり

返す入院時の留守番等を手伝っ

てもらったので助かった。ひと

段落したと思ったら、十人の孫

に恵まれて子守りを頼まれ、孫

育ての毎日でした。孫達は見上

げる程に成長したが毎週遊びに

来てくれるので、とても賑やか

です。この頃は来るたびに「元

気でいるか」と介護される側にな

なってきたようです。

娘の長男も結婚して二人で生活

れる娘達や孫達に感謝して、す

てきなじいちゃん、ばあちゃん

になるように心掛けています。

「老いては子に従え」ですね。

毎日、今日行く所を確認して忘

れないようにしています。

マイブーム



第三地区  
逸見

フサ

二月も半ばが過ぎると、昨今の気温とは思えない日があると思いきや、急に寒くなったりの日々ですが、毎年楽しみにしているのが、山菜取りです。

昨年も友人数人と朝六時頃に出発して、ワラビ、こしあぶら、ふきのとう等々を採り、朝食のおにぎりを、うぐいすの声を聞きながら食べるのは最高です。

丁度良い運動にもなり、山の恵みを頂いて楽しんでいます。

昨年は五月から六月にかけて、

さくらんぼのパック詰めの手伝

いに行きました。はじいたさく

らんぼは頂いて、自宅に持ち帰

りさくらんぼのジャムを作った

り、煮たさくらんぼを天日に干

し、干しさくらんぼを作ります。

干しぶどうの様な物に出来ます。

それと例年であれば、梅の収

穫です。昨年は家の梅は害虫に

より、良い梅を収穫することが

出来ませんでした。さくらん

ぼ園の方から、良い梅を沢山頂

き、沢山の梅ジャムと梅干しを

作る事が出来ました。

さくらんぼのジャム、梅ジャ

ムを作り、多い分は冷凍します。

さくらんぼ、梅ジャム、干しさ

くらんぼを使い、色んなお菓子

を作るのが、私の最高のマイ

ブームです。



# 多員の

## 健康・趣味

### 動ける身体づくり



東沢地区  
鈴木

公

シルバー人材センターの紹介で山形大学にお世話になって一年八ヶ月、仕事仲間にも恵まれようやく仕事の流れも分かっってきました。担当保育園の園児さんも可愛いです。

月に十日ほどの勤務で休みは趣味の山歩きをしています。三

月上旬に、以前悪天候で一度断念したライザワールドから自作のカンジキでの雪上登山と、蔵王刈田岳から厳冬のお釜を見ってきました。その日は雲一つない快晴、暖冬で一度崩落した樹水も見事に復活して絶景でした。

下山途中で仙人沢の氷瀑も綺麗にできているとの話なので、深雪の急傾斜を百五十メートル下り、圧倒的な氷瀑を眺めてきました。帰りの深雪の登りはとてもきつく僅か百五十メートルほどの標高差なのに一時間近くかかり、へろへろで登りました。

この冬一番の山行でとても満足しました。ただ、その後の大きな反省点がありました。想像以上の好天のため、紫外線の量が尋常ではなく、その日から一週間顔面がお猿さんの如く赤く腫れあがり大変。

要！日焼け対策。

数年に一回の好天に恵まれた雪山の山行に感謝です。

やまがた百名山全山踏破も目標です。昨年までで八十六座、あと十四座ですが、身体と相談しながら焦らずあと二年かけて登頂予定です。



### 短歌



大郷地区  
山本ワカ子

焼け跡に 雨の合い間に 虹が立つ  
能登はやさしや 降る雨までも

エステルわか子

山本ワカ子会員より、短歌作品を寄稿いただきました。ご多忙の中、作品をお寄せいただき、この場を借りて心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

広報部会では、今後も随時、趣味の短歌、俳句、写真など作品を募集しております。作品はシルバーやまがたに掲載し、ご紹介させていただきますので、是非ご寄稿ください。

# 事務局だより

(脚)山形市シルバー人材センター

山形市双葉町一丁目二番三号  
電話(0)11-2647-6647

## 新事務局職員紹介



石川 一幸

令和六年四月より  
常務理事(兼)事務局長



渡邊 友子

令和六年四月より  
嘱託職員

## 事務局紹介

常務理事(兼)事務局長 石川 一幸  
業務課長 菅野 千春

主任 原田 弘之

嘱託職員 平田 悦一

嘱託職員 奥山 専弘

嘱託職員 藤田 彩佳

## 総務係

係長 斎藤 康子

嘱託職員 井上真紀子

嘱託職員 渡邊 友子

## お知らせとお願い



### 配分金支払日

- 七月十九日(金)
- 八月二十日(火)
- 九月二十日(金)

### 入会説明会(午後一時三十分)

会員の皆さんからも入会の勧誘をお願いします。

- 七月二日(火) 八日(月)
- 十八日(木)
- 八月六日(火) 二十日(火)
- 二十七日(火)
- 九月五日(木) 十二日(木)
- 十九日(木)

### 就業相談日(午後一時三十分)

- (就業に関しての相談です)
- 七月十日(水)
- 八月七日(水)
- 九月十一日(水)

※就業相談の受付は午後一時十五分からです。  
予約等できないので「リ」承  
ください。

## 年度会費は傷害保険料に充当

会員の皆さんからいただいている年度会費(会員互助会除く)の主な使用内容については左記の通りです。

### 会員傷害保険料(二人あたり)

二千百九十円

### 総会議案書・会報印刷費等

九百円(うち、三百円を充当)

## センター緊急連絡先

090-1625-5153

土日・祝日に事故等が発生した場合の緊急連絡先です。

また、会員証と一緒にお渡しする緊急連絡カードは、就業の際必ず携帯するようお願いいたします。



## あとがき

元日に、能登半島地震というショッキングな出来事で始まった令和六年も半分が過ぎました。被災地の復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、今号の「シルバーやまがた」の編集会議が始まった頃は、ハナミズキが咲き始めていました。ウグイスの鳴き声も聴こえていました。だんだん上手になっていくのが楽しみでした。スイセンなど春にはお馴染みの花々が咲き、徐々にツツジ、バラ、クレマチス等の初夏の花が咲き始めました。木々の葉の緑も色濃くなってきました。

華やかな季節になっています。そんな景色に誘われるように、外出される方もいらっしやることでしょう。機会があれば、熱中症に気をつけて出かけてみましょう。その時は、楽しかったことなどを書き留めておきましょう。そして、それを「シルバーやまがた」へ投稿していただけたら、とてもありがたいです。本格的な夏がやってきます。暑さに負けず、事故などにあわず、元気にお過ごしください。

(I・Y)